

市 P たより「かけはし」

熊本市 PTA 協議会事務局 平成 29 年 1 月 19 日
Tel : 356-1122 Fax : 351-2309 H28-7 号
E メール info@kumamotocity-pta.net

1/10 の始業式朝には、寒い中に市教委や地域の方々と共にさわやかな挨拶が飛び交ったことでしょう。新しい年、そして年度のまとめと次年度への準備の 3 学期、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

○ **市 P 主催一斉あいさつ運動お世話になりました・・・**今回も市教委から教育長様はじめ 198 人の職員の方々が市内全ての 137 市立小中学校に出かけてくださいました。平成 13 年度から続くこの市 P 主催あいさつ運動が、今後も学校、保護者、地域そして教育委員会をつなぎ、信頼関係を深める価値ある行事として継続して行ってほしいと念じます。

○ **2/13 (月) 19 時 次年度プール開放説明会・・・**昨年度は震災後で開放数が減りましたが、新しい仕組みでのプール開放も 5 年目を迎えます。次年度の予定等を市教委健康教育課から説明していただいたあと、城山小・鮎田東小からの実践発表やグループ毎の情報交換会が予定されています。単 P から 2 名程度のご出席をどうぞ。今年は鶴屋東館 10 階パレオホールです。(通知文は 1/6 付で市教委から直接届いています → 出欠 ～2/7 火)

○ **2/25 (土) 15 時 会長懇談・懇親会・・・**年間計画にはなかった研修会ですが、震災を含めご苦労された会長さん方同士で思いや課題等を語り合っていたく中で、情報交換と親睦を深めていただこうと計画されたものです。ぜひご参加ください。(山木屋食堂：中央区坪井町 7-10 懇親会費 5 千円 → 出欠 ～2/15 水)

○ **3/10 (金) 10 時 「校内プリント研修会」・・・**今年は、現市 P 常任理事さんや、熊日 N I E センターから講師をお迎えし、魅力的な文書作りや新聞から学ぶ編集技術等を内容とする研修会を予定しています。どうぞご参加ください。(対象：次年度役員予定者 2 名程度 鶴屋東館 9 階 第 1 会議室にて 申込み ～2/28 火)

○ **日 P 新聞 (第 352 号) が発行されました・・・**日 P 表彰式での緒方玲子前会長の謝辞や熊本地震関連記事、それに日 P・各ブロック大会記事等が掲載されています。全国各地の様子を知ることは、それぞれの単 P を見つめる良い機会ともなることでしょう。(多くの方々への回覧を！ 日 P の HP から閲覧可能です)

○ **市から「休日乳がん検診のお知らせ」・・・**平日は時間がなく、なかなか受診できない方のために、休日検診のお知らせです。(28 年度に 40 歳以上偶数年齢になれる方等が対象)

○ **シホ「ネット社会の闇に立ち向かえる子どもたちをどう育てるか・・・」**・・・子どもの命と権利を守る活動推進協議会主催(市 P も一員 2/7(木)13:30 県劇地下大会議室 チラシはすでに学校に届けてあるそうです)

※ 各校 P T A 主催研修会に 1 万円を上限として助成する制度 (6/8 付熊市 P 協発第 25 号) へのご応募は 1/23 (月) までです。奮ってどうぞ。

※ 平成 28 年度「C P 読書プラン：17 校」・C P 家族プラン：16 校」・「C P 地域連携プラン：13 校」助成決定校は、事業実施後、早めの報告書ご提出をよろしくお願いいたします。(読書プラン以外の助成金支給のご案内は、近日中にお届けします。支給日は 2/14～2/23 の予定です)

市 P 協からの質問等への市教委からの回答 (その 4)

今回は、1～6 の項目中、2 確かな学力に関しての続きです。
(1 豊かな心、2 確かな学力、3 健康・体育・給食、4 教育環境、5 地域社会との連携、6 その他) ※地震関連も加わっています

2 確かな学力

⑩ 塾通いの生徒増への配慮でしょうか、宿題が減ったと感じます。適度な量を願います。

(回答) 指導課

塾通いの生徒に配慮して宿題を減らしていることはありません。中学校段階では自ら目標を立てて主体的に学習に取り組む力も育てなければなりません。宿題が出ていても出ていなくても、必ず学習する時間を確保し、家庭学習の習慣がつかますよう声かけをお願いします。

⑪ 先生方の負担を軽減し、授業に集中していただくためにも社会体育への移行を進めてほしい。

(回答) 健康教育課

小学校の運動部活動については、その意義や役割を踏まえ、関係団体や関係部局と意見交換を進めてきました。現在、学童期に相応しい運動部活動のあり方を検討しているところです。

⑫ 塾に通えない子どもにも目を向け、興味が持てやる気の出る授業づくりをさらにもお願いします。

(回答) 指導課

興味が持てやる気の出る授業づくりを目指し、本年度「授業づくり 5 つの視点」をすべての教職員に示し、各学校で授業改善を進めているところです。具体的には、授業のねらいに沿って子どもたちの主体的な活動が授業にしたり、子ども生かす場面を作る等、工夫を行ってまいります。 →裏面



